

2006年10月30日
株式会社日立コンサルティング
株式会社日立製作所

オラクル関連事業の強化について

日立コンサルティングに人員を集約し、Oracle Applications のコンサルティングから 導入までをワンストップで提供

株式会社日立コンサルティング(代表取締役社長兼CEO:ポール 与那嶺/以下、日立コンサルティング)は、Oracle E-Business Suiteをはじめとする Oracle Applications 関連事業を強化します。その第一弾として、現在、株式会社日立製作所 情報・通信グループ(グループ長&CEO:篠本 学/以下、日立)で Oracle E-Business Suite 関連のシステム構築などのソリューションを提供している部隊を、2006年11月1日付けで日立コンサルティングに集約し、Oracle Applications に関するコンサルティングから導入までをワンストップで一貫して提供できる体制を整えます。

2006年4月に発足した日立コンサルティングは、日立グループにおけるコンサルティングの中核会社として、ビジネスコンサルティングからシステムインテグレーションまでを一貫して提供する BSI (Business Consulting and Systems Integration) モデルを掲げており、Oracle Applications を BSI モデルの主要サービスのひとつとして位置づけています。一方、日立は、1999年に ORACLE EBS ソリューションセンタを設立し、主として製造業・流通業のお客様や日立グループに対してシステム構築などのソリューションを提供してきました。

今回、Oracle Applications 関連のリソースを日立コンサルティングに集約し、コンサルティングから導入までをワンストップで、一貫したソリューションを提供できる体制とし、Oracle Applications 関連事業の拡大を図ります。今後、Oracle E-Business Suite に加え、Siebel や PeopleSoft Enterprise および JD Edwards のプロダクトをラインアップとして取り扱い、お客様のニーズに合わせ適用するほか、製造業・流通業のお客様だけでなく、金融や公共、および電力・ガス・水道など社会インフラのお客様への Oracle Applications システムの適用も進めていきます。

日立は、Oracle Award を4年連続で受賞するなど、オラクル社と長年にわたり、良好なパートナーシップにあります。Oracle Applications 関連事業についてもさらに連携を深めていきます。日立コンサルティングは、今後、Oracle Applications 関連事業を拡大し、2010年度には、100億円の売上高を目指します。

なお、本発表あたり、日本オラクル株式会社 代表取締役社長 新宅正明様から以下の通り、コメントをいただいております。

日本オラクルは日立コンサルティングによる、オラクルアプリケーション事業の強化を歓迎いたします。日立コンサルティングがオラクルグループの広範なソリューション製品を手がけることによって、より迅速で効率のよい基幹アプリケーションの構築が可能となるでしょう。日本オラクルと日立コンサルティングは、アプリケーション分野の戦略的協業を通じて、顧客に最適なソリューションの提案を継続してまいります。

他社商標注記

- ・Oracle、PeopleSoft、JD Edwards 及び Siebel は米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の登録商標です。
- ・その他の記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

以 上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
